

第185号

会津坂下農業普及所たより

# みどりのこだま

## 祝 福島県農業賞 農林水産大臣賞

大越洋一さん、晴子さん夫妻



去る令和2年9月9日、第61回福島県農業賞表彰式が福島市の杉妻会館で行われ、会津美里町の大越洋一さん、晴子さん夫妻が農林水産大臣賞を受賞、表彰されました。

福島県農業賞は、昭和35年から続く伝統ある賞で、「農業十傑」として知られ、県内の農業の分野で最も権威ある賞です。農林水産大臣賞は、その中でも最も優れた表彰者に授与されるものです。

大越さん夫妻は、後継者とともに家族経営できゅうりを中心とした経営に取り組んでいます。きゅうりでは、全面積の施設化により長期間の安定出荷が可能な栽培体系としており、所属するJA会津よつばみどり地区きゅうり部会の中でも生産量、販売額ともにトップレベルにあります。



内掘知事と大越夫妻

会津美里町では、平成29年度に同きゅうり部会員が県農業賞を受賞しており、今回の受賞は、大越さんのみならず、会津美里町がきゅうりの産地として県内でも技術的に高いレベルにあることの証明となりました。

大越さん夫妻、また推薦された会津美里町やきゅうり部会を支えるJAの皆様、受賞おめでとうございます。  
(主査 大島)

# 福島の新ブランド米「福、笑い」

「福、笑い」は福島県が開発した新しい米の品種で、柔らかで粘りのある食感と強い甘みを持ち、コシヒカリを超える品種として期待されています。

福島県では「福、笑い」を高品質で生産、高価格で販売するためのブランド化戦略を進めており、その一環として「福、笑い」の生産者をGAP認証取得者に限定しました。今年度、当所管内では柳津町の生産者に高品質の「福、笑い」を生産していただきました。

令和3年産米からの本格販売に向けて、今年度は県内や東京の百貨店、アンテナショップでの試験販売が行われ好評を得ています。

令和3年度は県全体として25haの作付けが予定されています。近年は、原発事故や新型コロナウイルスの影響により価格が低迷している福島県産米ですが、この品種が新たなブランド米として成長し、県産米全体の牽引役となれるよう、当所も「福、笑い」の生産拡大に向け作付けを支援してまいります。(技師 片桐)



「福、笑い」のパッケージ



収穫直前の「福、笑い」(9/23)



福島を応援する「ベコ太郎」

## 鳥獣被害対策情報

会津坂下町の朝立集落では、7月中旬から8月末にかけて、野鼠による水稻の食害が発生しました。会津坂下町と共同で調査を実施したところ、水稻の茎がかじり切れ、切断された上部が枯死・褐変するという被害で、全損換算での被害面積は約4ha、被害金額は約5,340千円にもなりました。集落では近年、環境への配慮から殺鼠剤の散布を実施しておらず、徐々に野鼠の個体数が増加したと考えられます。被害規模が大きく、来年度以降も発生が懸念されることから、野鼠対策が急務となっています。

### 【今後の活動】

野鼠捕獲のためのトラップによる加害野鼠の種類特定を行います。また、鳥獣被害対策や野鼠の生態に詳しい専門家に助力を求めながら、適切な薬剤の選択や散布方法の指導等、効果的かつ現実的な対策を集落と共に検討します。

(技師 石川)

### 【対策の経過】

7月22日	被害状況の確認
8月7日	被害状況の確認及び野鼠対策指導
9月3日	被害面積及び金額調査
11月13日	次年度の野鼠対策検討会
11月17日	令和2年度の鳥獣対策実績検討会
12月3日	シャーマントラップ設置
12月7日	バケツによる捕獲トラップ設置



朝立地区の被害状況

# 地域の活動を紹介します

## 両沼地域輝く農村女性ネットワーク

両沼地域輝く農村女性ネットワークは、両沼地域で農業を営む女性が集まり、研修・交流等の活動を行っている団体です。

令和2年11月9日に、リンゴとブドウ、キウイフルーツを始めとした果樹栽培の省力技術について視察研修を行いました。リンゴの栽培については、特に着色管理について学ぶことができました。ブドウやキウイフルーツの導入に意欲を示した会員もあり、今回学んだことを活かして農業に取り組む予定です。

今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、活動の範囲も制限されていますが、明るく元気に様々な活動に取り組んでいきます。農村女性ネットワークの活動に興味のある方は会津坂下農業普及所までご連絡ください。(技師 酒井)

果樹栽培視察研修



## 会津坂下地域産直・加工ネット

ペポカボチャ加工施設視察研修



栄養成分表示研修

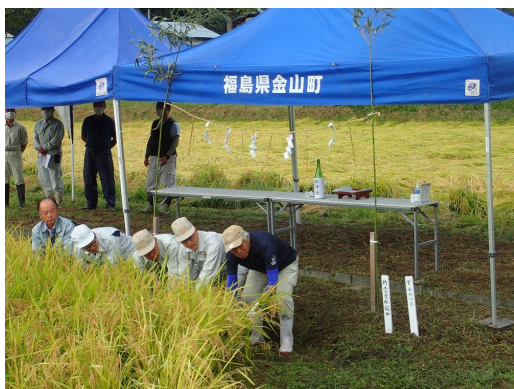
会津坂下地域産直・加工ネットは、両沼地域で活動している農産物の直売、加工組織のネットワークです。土地の恵みと生産者の愛情に育まれた農産物と、各組織がそれぞれの特徴を活かしながら切磋琢磨している産直加工活動を通して、地域活性化を後押ししています。

会員の課題解決のため、これまでに商品開発や食品加工・販売の法令についての研修、県内外の先進地へ視察研修などを行ってきました。コロナ禍で活動しづらい状況ですが、会員同士協力しながらコロナに負けずに頑張っています。新規会員募集中なので、産直や食品加工に興味のある方は会津坂下農業普及所までご連絡ください。(技師 若月)

**「収入保険」は様々なリスクから農業経営を守ります！**

## 金山町で押部清夫さんが「里山のつぶ」を新嘗祭で献納、知事に報告

前号(184号)で(株)奥会津金山大自然の押部清夫さんが県オリジナル水稻品種「里山のつぶ」の新嘗祭献穀米の御田植式を行った様子が紹介されましたが、令和2年9月18日にぬいぼしき関係者による抜穂式が行われ、無事収穫されました。コロナ禍の影響で皇居での献穀献納式は中止になりましたが、10月下旬には献穀米は宮内庁に送られ、11月23日の新嘗祭で献納されました。



抜穂式の様子

12月23日には、押部清夫さん、チヨさん夫妻が金山町押部町長とともに県庁を訪問し、内堀知事に献穀米の作柄などを報告するとともに、献穀米を生産したほ場の「里山のつぶ」1kgが知事へ贈呈されました。知事からは宮内庁の伝達書等が手渡されました。

(主査 小森)



内堀知事と押部さん夫妻、押部町長

## 所長のひとりごと 極上の会津米復興を目指して！(本県米価の現状と考察)

2020年産会津米「コシヒカリ」の平均価格は1俵15,025円。これは前年より545円安く、震災前2008年産より1,146円も安い。「天のつぶ」は前年より1,345円の下落である。ちなみに他県では、山形「つや姫」は18,605円で前年より16円高、北海道「ななつぼし」は15,174円で前年より698円安だが、2008年よりなんと1,239円高となっている。全銘柄平均では同15,001円で719円安、145円安となっていて、本県の下落だけが目立っている。

極上の会津米といえども地位の低下が著しく全国平均と比べ約1,000円もの開きがあり、風評被害が回復しきれていないと思われる。新潟魚沼「コシヒカリ」も下落傾向にあるが、それでも全国一位のトップブランドを維持している。

注目なのは「つや姫」と「ゆめぴりか」。多くが下落するなか価格を伸ばしている。

本県では、「福、笑い」が本格デビューを迎える。「つや姫」のようになれるよう頑張りましょう。(普及所長 高橋)

2020年産米の平均価格(農水省より抜粋加工) (単位:円/玄米60kg税込)

産地	品種銘柄	①2020年 12月まで	②2019年 年間平均	③2008年 年間平均	①-②	参考 ①-③
福島	コシヒカリ(中通り)	13,677	15,360	15,117	▲1,683	▲1,440
福島	コシヒカリ(会津)	15,025	15,570	16,171	▲545	▲1,146
福島	コシヒカリ(浜通り)	13,995	14,985	15,362	▲990	▲1,367
福島	ひとめぼれ	13,821	14,924	14,653	▲1,103	▲832
福島	天のつぶ	13,116	14,461	-	▲1,345	-
山形	つや姫	18,605	18,589	-	16	-
北海道	ななつぼし	15,174	15,872	13,935	▲698	1,239
北海道	ゆめぴりか	17,283	16,801	-	482	-
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,432	20,962	24,991	▲530	▲4,559
新潟	コシヒカリ(岩船)	17,267	17,979	17,267	▲712	0
新潟	コシヒカリ(佐渡)	17,314	17,999	17,538	▲685	▲224
	全銘柄平均	15,001	15,720	15,146	▲719	▲145

◇内容に関するお問い合わせ、農業に関する相談はこちらへ

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町656-1 (電話) 0241-54-2801